Ⅰ．基本方針

外来語（中国以外の外国の地名･人名，固有名詞と一般名詞を含む）の発音表記は，それぞれのことばの日本語化の程度を考慮し，次のように扱う。

1. 原音とは異なる慣用が熟しているものは，慣用の形を尊重する。
2. 1に示したような慣用が熟していないものは，なるべく原音に近い形にする。

〈注〉中国の地名・人名についてはP.131参照。

Ⅱ．原則

1. 用字

文字は，原則としてカタカナを使う。

使用するカタカナは，別表「外来語に使うカナと符号」に記載のものに限る。

2. 一般的な発音・表記と専門用語の発音・表記

放送では，視聴者にわかりやすく親しみやすいことを旨とし，なるべく一般に広く通用している発音・表記を使う。

ただし，必要がある場合には，原則1の用字の範囲内で，専門分野などで使われている発音・表記を使ってもよい。

3. 発音

原則として発音と表記は一致させるものとする。

4. 他のマスメディアとの関係

個々の外来語については，できる範囲で，新聞など他のマスメディアで使用されている表記との統一をはかる。

Ⅲ. 細則

別表のカナを用いて外来語を表記する場合の注意事項を，〈原音に近く表記する場合に用いるカナ〉および〈その他〉の2部に分けて以下に示す。なお，第1部における各項の記述の順序は，原音に近く書き表す場合の表記を（1）とし，次に一般的表記，慣用的表記の順である。ただし，一般的表記が（1）に一致する場合，慣用的表記が一般的表記に一致する場合などは，それらを省略する。また，必要に応じて，各項の末尾に〈注〉を付す。

第1部

原音に近く表記する場合に用いるカナ（各項見出しの最初にある太字のカナ）に関する注意事項

1.（**ティ・ディ**）（**チ・ジ**）（**テ・デ**）

原音［ti・di］は次のように扱う。

（1）原音に近く書き表す場合は「**ティ・ディ**」と書く。

〈例〉ティーパーティー tea party，コメディー comedy

（2）慣用により「**チ・ジ**」と書くものがある。

〈例〉チケット ticket，ジレンマ dilemma

（3）慣用により「**テ・デ**」と書くものがある。

〈例〉ステッキ stick，アイスキャンデー ice candy

〈注〉スポーツ中継などでは，「チーム」を「ティーム」のように発音してもよい。

2.（**トゥ**）（**ツ**）（**ト**）

原音［tu］は次のように扱う。

（1）原音に近く書き表す場合は「**トゥ**」と書く。

〈例〉ハチャトゥリアン Khachaturyan（人）

ラ・トゥール La Tour（人），トゥナイト tonight

（2）一般的には「**ツ**」と書く。

〈例〉ツーピース two-piece，ツアー tour

ツール tool，ツンドラ（ロ）tundra

〈注〉原音［t］が語末にきた場合，あるいは他の子音の前にきた場合は，次のように扱う。

（1）原則として「**ト**」と書き，「トゥ」とは書かない。

〈例〉ヒット hit，トロフィー trophy

トリスタン Tristan（人）

（2）慣用により「**ツ**」と書くものがある。

〈例〉クリスマスツリー Christmas tree

ツイン twin，ツイード tweed

3.（**ドゥ**）（**ド**）（**ズ**）

原音［du］は次のように扱う。

（1）原音に近く書き表す場合は「**ドゥ**」と書く。

〈例〉カルドゥッチ Carducci（人）

ドゥシャンベ Dushanbe（地）

（2）一般的には「**ド**」と書く。

〈例〉ドガ Degas（人），ドンケル Dunkel（人）

ドビュッシー Debussy（人）

（3）慣用により「**ズ**」と書くものがある。

〈例〉ズック（オ）doek，ズルチン（独）Dulzin

〈注〉原音［d］（子音単独か，あるいは他の子音が続く場合）は，原則として「**ド**」と書き，「ドゥ」とは書かない。

〈例〉コード code, cord，ドリンク drink

4.（**ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ**）（**バ・ビ・ブ・ベ・ボ**）

原音［va・vi・v(u)・ve・vo］は次のように扱う。

（1）原音に近く書き表す場合は「**ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ**」

と書く。

〈例〉ヴィヴァルディ Vivaldi（人）

(2) 一般的には「**バ・ビ・ブ・ベ・ボ**」と書く。

〈例〉ベルサイユ Versailles（地），ドライブ drive

(3) ドイツ語の語頭に来るW-[v-]は，原則として「ワ・ウィ・ウェ・ウォ」を用いて書く。また，スラブ語の語末の［va］は，原則として「**ワ**」と書く。

〈例〉ワーグナー Wagner（人）
ウェーバー Weber（人）
テレシコワ Tereshkova（人）

〈注〉「ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ」の発音は「バ，ビ，ブ，ベ，ボ」で差し支えない。

5.（**ヴャ・ヴュ・ヴョ**）（**ビャ・ビュ・ビョ**）

原音［vja・vju・vjo］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**ヴャ・ヴュ・ヴョ**」と書く。

〈例〉ヴュイヤール Vuillard（人）

(2) 一般的には「**ビャ・ビュ・ビョ**」と書く。

〈例〉インタビュー interview

〈注〉「ヴャ・ヴュ・ヴョ」の発音は「ビャ・ビュ・ビョ」で差し支えない。

6.（**テュ・デュ**）（**チュ・ジュ**）

原音［tju・dju］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**テュ・デュ**」と書く。

〈例〉テュレンヌ Turenne（人），デュマ Dumas（人），
プロデューサー producer

(2) 一般的には「**チュ・ジュ**」と書く。

〈例〉スチューデント student，ジュース deuce

7.（**イェ**）（**イエ**）（**エ**）

原音［je］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**イェ**」と書く。

〈例〉イェスペルセン Jespersen（人）

(2) 一般的には「**イエ**」または「**エ**」と書く。

〈例〉イエナ Jena（地），エルサレム Jerusalem（地）

8.（**シェ・ジェ**）（**セ・ゼ**）

原音［ʃe・(d)ʒe］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**シェ・ジェ**」と書く。

〈例〉シェパード shepherd，ジェンナー Jenner（人）

(2) 慣用により「**セ・ゼ**」と書くものがある。

〈例〉ミルクセーキ milk shake，ゼリー jelly

9.（**チェ**）

原音［tʃe］を原音に近く書き表す場合は「**チェ**」と書く。

〈例〉チェーン chain，チェック check

10.（**ニェ**）（**ニエ**）

原音［nje］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**ニェ**」と書く。

〈例〉インジェニェーリ Ingegneri（人）

(2) 一般的には「**ニエ**」と書く。

〈例〉レニエ Régnier（人），ニエレレ Nyerere（人）

11.（**ヒェ**）（**ヘ**）

原音［çe］は次のように書く。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**ヒェ**」と書く。

〈例〉ベルヒェム Berchem（人）

(2) 一般的には「**ヘ**」と書く。

〈例〉メルヘン（独）Märchen

12.（**ウィ・ウェ・ウォ**）（**ウイ・ウエ・ウオ**）（**イ・ー・ー**）

原音［wi・we・wo］は次のように扱う。

(1) 原音に［wi］［we］の発音が含まれる外来語は「ウイ」「ウエ」と発音・表記することを原則とする。

〈例〉ウイスキー whisky，ウエディング wedding

(2) 原音に［wo］の発音が含まれる外来語は「ウォ」と発音・表記することを原則とする。

〈例〉ウォーキング walking，ストップウォッチ stop watch

(3) 慣用により［wi］を「**イ**」と書くものがある。

〈例〉サンドイッチ sandwich，スイッチ switch

〈注〉新しく入ってきた外来語を中心に，現代では原音に近く［ウィ］［ウェ］という発音が行われる場合も多い。より原音に近く発音し，そのとおりに表記したい場合には，「ウィ」「ウェ」の発音・表記を使ってもよい。

なお，「ハロウィーン」「アウェー」のように，すでに「ウィ」「ウェ」で発音・表記されることが慣用として固定している語は，「ウィ」「ウェ」で示す。

〈注〉地名・人名は「**ウィ・ウェ・ウォ**」と書く。

〈例〉ウィルソン Wilson（人），ウェールズ Wales（地）

13.（**クァ・クィ・クェ・クォ**）（**クア・クイ・クエ・クオ**）（**カ・キ・ケ・コ**）

原音［kwa・kwi・kwe・kwo］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**クァ・クィ・クェ・クォ**」と書く。

〈例〉クィンティリアヌス Quintilianus（人）

(2) 一般的には「**クア・クイ・クエ・クオ**」，または「**カ・キ・ケ・コ**」と書く。

〈例〉クエスチョン question，クオーツ quartz
キルティング quilting，イコール equal

14.（**グァ・グィ・グェ・グォ**）（**グア・グイ・グエ・グオ**）

原音［gwa・gwi・gwe・gwo］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**グァ・グィ・グェ・グォ**」と書く。

〈例〉グァルディーニ Guardini（人）

(2) 一般的には「**グア・グイ・グエ・グオ**」と書く。

〈例〉グアテマラ Guatemala（地），グアム Guam（地）

15.（**ツァ・ツィ・ツェ・ツォ**）（**ー・チ・ー・ー**）

原音［tsa・tsi・tse・tso］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**ツァ・ツィ・ツェ・ツォ**」と書く。

〈例〉ソルジェニツィン Solzhenitsin（人）
ティツィアーノ Tiziano（人）
カンツォーネ canzone

(2) 慣用により［tsi］を「**チ**」と書くものがある。

〈例〉ベネチア Venezia（地），ライプチヒ Leipzig（地）

16.（**ファ・フィ・フェ・フォ**）（**ハ・ヒ・ヘ・ホ**）

原音［fa・fi・fe・fo］は次のように扱う。

(1) 原音に近く書き表す場合は「**ファ・フィ・フェ・フォ**」と書く。

〈例〉ファン fan，フィールド field，フェルト felt
フォークダンス folk dance

(2) 慣用により「**ハ・ヒ・ヘ・ホ**」と書くものがある。

〈例〉ヘッドホン headphone

〈注〉「ファ・フィ・フェ・フォ」の発音は，原音のような歯と唇を使った発音でなく，両唇を使った日本語としての発音で差し支えない。

17.（フャ・フュ・フョ）（ヒャ・ヒュ・ヒョ）
原音［fja・fju・fjo］は次のように扱う。
(1) 原音に近く書き表す場合は「フャ・フュ・フョ」と書く。
〈例〉フュージョン fusion，ドレフュス Dreyfus（人）
(2) 一般的には「ヒャ・ヒュ・ヒョ」と書く。
〈例〉ヒューズ fuse
〈注〉「フャ・フュ・フョ」の発音は，原音のような歯と唇を使った発音でなく，両唇を使った日本語としての発音で差し支えない。

第2部

その他，撥（はつ）音，促音，長音などに関するもの

1.「ン」はねる音（撥音）
(1) 原語の発音中に「ン」に聞こえる音が含まれない場合は，「ン」は原則として用いない。
〈例〉イニング inning（←インニング）
コミュニケーション communication（←コンミュニケーション）
(2) 原語の発音中に「ン」に聞こえる音が含まれない場合でも，慣用により「ン」を用いるものがある。
〈例〉ランニング running，カンニング cunning

2.「ッ」つまる音（促音）
(1) 原語の発音中に「ッ」に聞こえる音が含まれない場合は，原則として「ッ」は用いない。
〈例〉バンコク Bangkok（地）（×バンコック）
ヒトラー Hitler（人）（×ヒットラー）
ジョギング jogging（×ジョッギング）
(2) 原語の発音中に「ッ」に聞こえる音が含まれない場合でも，慣用により「ッ」を用いるものがある。
〈例〉カット cut，キャッチャー catcher
トピックス topics，バッグ bag
マッハ Mach（独）

3.「ー」長音符号
(1) 原語の二重母音［ei］［ou］などは原則として「ー」を用いて書く。
〈例〉ゲーム game，メール mail，レート rate
ボート boat，ホーム home，ローン loan
〈例外〉エイト eight，ペイ pay，レイアウト layout
フェイルセーフ fail-safe，ケインズ Keynes（人）
サラダボウル salad bowl，ボウリング bowling
(2) 英語などの語末の-er・-or・-ar・-yは原則として長音符号を用いて書く。
〈例〉コンピューター computer，エレベーター elevator
パーティー party，オーソリティー authority
〈例外〉ケネディ Kennedy（人）
(3) 慣用により長音符号の代わりに母音字を添えて書くものがある。
〈例〉バレエ ballet，ミイラ（ポ）mirra

4. イ列・エ列の次の「ア」
イ列・エ列の次の「ア」または「ヤ」の音は，次のように扱う。
(1) 原則として「ア」と書く。
〈例〉ピアノ piano，イタリア Italia（地）
ヘア hair，デイケア day care
(2) 慣用により「ヤ」と書くものがある。
〈例〉タイヤ tire，ダイヤル dial，イヤホン earphone